

小学校低学年の部

最優秀作品賞

「すずめとしらさぎ」

今帰仁村立兼次小学校 1 年生 仲本 愛

おきなわに、ちいさいけどしあわせいっぱいすずめがいました。

「こんにちは。あなたはだあれ？どこからきたの？」

「ぼくはしらさぎ。とおいきたのくにからきたんだよ。ここはどこ？」

「ここはおきなわだよ。」

「へえ、あかるくてあったかくていごこちがいいね。うん！きにいった！」

「よかった。わたしはずっとここにすんでいるのよ。」

「そうなの。ところでぼくおなかがぺこぺこなんだけど・・・」

「それじゃあ、ゴーヤーチャンプルーをどうぞ」

「にがっ！」

「うふふふ。そのにがさがからだにいいのよ。パイナップルもどうぞ。」

「すっぱ！」

「でも、すごおくあまいでしょう？」

「ここのきやくさはとてもげんきで、むしたちもたのしそうだね。」

「おはなもきれいでしょう？このハイビスカスはわたしのおきにいりなのよ。」

「おきにいり？」

「そうよ。ほかにもあるわよ。おさかないっぱい、もずくもいっぱいのきれいなうみ。いじゅのはながさくやんばるのやま。」

「うわあ、こんなに？とろできみは、ほかのくににいったみたいとおもわな
いかい？」

「そりゃあ、おおきくなったらいろんなところへいってみるわよ。でもきっと
ここへもどってくるわ。」

「どうしてそんなにおきなわがすきなのかい？」

「どうしてかなあ。きっとわたしがここでうまれて、ここできてきたからかなあ。」

「ふうん、ぼくはたびをしてきたからこんなことかんがえたことがないよ。」

「じゃあ、あなたもここをふるさとにするといいよ。」

「ありがとう。きみをみているとここがすてきなところだっておもえてきたよ。」

「こちらこそありがとう。」

こうして、しらぎはおきなわのすばらしさをたびさきでつたえるようになりました。すずめは、もっともっとおきなわがすきになりました。